平成 27 年５月 12 日

各　位

会社名　ダイキョーニシカワ株式会社
代表者名　代表取締役社長　岡　徹
（コード番号　4246　東証第一部）
問合せ先　執行役員 経営本部長　河崎　広
（TEL 082-885-9979）

関連会社で発生した損失に関するお知らせ

関連会社における損失の発生に関して、平成 27 年３月期連結決算並びに個別決算において下記の損失を計上いたしましたのでお知らせいたします。

記

１．関連会社で発生した損失について

当社の持分法適用関連会社において、業績の悪化並びに今後の業績予測に基づき、同社の事業用資産に関して約 25 億円の固定資産の減損損失が発生しました。

２．連結決算における持分法投資損失と貸倒引当金繰入額の計上について

当該持分法適用関連会社で発生しました固定資産の減損損失の当社持分相当額を含め、当社の連結決算において営業外費用の「持分法投資損失」として 1,363 百万円を計上いたしました。
また、当社は、同社への貸付金などの債権の回収可能性について、今後の事業環境や収支予測に基づき検討しました結果、連結決算において 102 百万円の「貸倒引当金繰入額」を販売費及び一般管理費に計上いたしました。なお、当該貸倒引当金繰入額につきましては、上記「持分法投資損失」の計上により個別決算で計上する貸倒引当金繰入額より少額となりました。

これらによる当社連結決算における影響額は、1,465 百万円の損失となりました。

３．個別決算における貸倒引当金繰入額と関係会社株式評価損の計上について

当社は、当該持分法適用関連会社への貸付金などの債権の回収可能性について、今後の事業環境や収支予測に基づき検討しました結果、個別決算において 944 百万円の「貸倒引当金繰入額」を販売費及び一般管理費と営業外費用に計上いたしました。

また、同社の財政状態が悪化したことにより同社株式の実質価額が著しく低下したことから、当社が保有する同社株式について 591 百万円の「関係会社株式評価損」を特別損失に計上いたしました。当該関係会社株式評価損は、連結決算において全額消去されるため、連結決算の損益に与える影響はありません。

これらによる当社個別決算における影響額は、1,535 百万円の損失となりました。

以上